



小藪侃一郎議員

●世界、日本経済の不況による  
川根本町の税収認識

問

- 21年度予算編成  
①子育て支援の充実 ②北部公共交通  
③自然エネルギーの活用④役場窓口業務の充実

**質問** 経済は国外、国内を問わず、厳しい状況で町内の企業にも大きく影響を及ぼし、町民にも実感として表れております。本町財政の認識をお伺いします。

**町長** 今年度分の法人町民税は予算額通り見込んでおりますが、来年度以降は業績悪化や決算確定による還付金の発生など、非常に厳しい状況になると予想されます。個人住民税、固定資産税も減少傾向は避けられず、議員ご指摘のとおり、来年度の町予算は、本年度当初予算に比べ大幅な減収の見込みと認識しております。

**質問** 厳しい財政の中で税金の無駄使いがないか、点検していかないければならないと考えますが、お伺いします。

**町長** 今後とも引き続き点検をしながら、いわゆるPDCAサイクルの中で見直し、改善を繰り返していきたい、まだまだ見直すべきところがあり、より効率的な行政運営を進めて

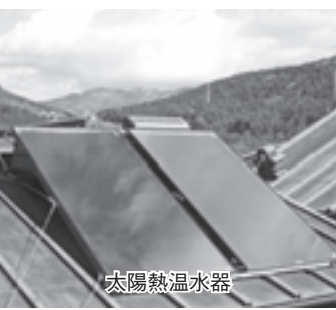
**質問** 経済は国外、国内を問わず、厳しい状況で町内の企業にも大きく影響を及ぼし、町民にも実感として表れております。本町財政の認識をお伺いします。

**町長** 平成21年4月の目標に実施の方向で現在検討中で、財源確保等精査しているところです。住民の期待にこたえられる対応をとってまいります。

**質問** 自然エネルギーの活用は当町に関連企業があり20年以上前から相当数の太陽熱温水器が設置され更新時期にきており、新設に加え、更新にも助成金が適当と思えますが、お伺いします。

**町長** 地球温暖化問題の対応が迫られる中、本町も来年度事業に自然エネルギー機器導入促進補助金の予算計上準備を進めます。県内の自治体と同程度の助成額が基本的には望ましいと考えております。

**質問** 子育て支援センターについて伺います。道路等がさらに整備される利便性も高く、町の中心部の藤川保育園、全地区を対象とした活動拠点施設として活用し、21年4月開所に向けて準備を進めており、事業内容はサロンのスペースも確保し、子育て親子の交流の場の提供と、交流の促進、子育て相談、支援を必要とする家庭への訪問支援、関連情報の提供、講習等の実施を基本事業として、職員数は2名以上、週5日開所するように検討していきます。



太陽熱温水器

**質問** 役場窓口業務の拡充については、組織の改革、併せて業務内容の改革、職員の意識改革も必要かと思えますが、お伺いします。

**町長** 将来に向けて、同規模団体の平均職員数130人程度に近づけていく必要があるということ、現在変更をお願いしているところでもあります。総合計画においても、町職員の意識改革と能力向上がうたわれており、これからも引き続き各種研修を通じ、接遇や管理能力、職務遂行上の能力を高めていきたい。新年度からは今まで以上に効率的でわかりやすい行政運営を目指し、住民の安心・安全の向上に努めてまいります。

**質問** 役場窓口業務の拡充については、組織の改革、併せて業務内容の改革、職員の意識改革も必要かと思えますが、お伺いします。

答

- 減収の見込み より効率的な行政運営を進める  
○予算編成 ①②③は21年4月からの実施を目指します  
④今議会で可決されれば、早期に職員異動内示で新体制の準備をすすめる